

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 老人クラブ活動デジタル化普及促進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 長寿社会推進係 電話番号：058-272-1111(内3464)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,981 千円 (前年度予算額： 1,981 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,981	990	0	0	0	0	0	0	991
要求額	1,981	990	0	0	0	0	0	0	991
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

老人クラブ活動は、高齢者の健康増進、介護予防とともに地域コミュニティ形成の重要な役割を担い、高齢者にとって必要不可欠なものである。

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による活動を中心としている老人クラブ活動は縮小を余儀なくされている。

オンラインでの活動は、クラブ間の交流が活発になるなど、老人クラブ活動を発展させる手法であるが、多くの高齢者がデジタル機器の操作やオンラインでの活動に不慣れで、デジタル化自体に抵抗を覚える方も多いため、デジタル機器の基本的な操作やトラブル時の支援を行うなど、丁寧にデジタル化を進める必要がある。

感染症拡大時においても、老人クラブの活動を充実させるため、県老人クラブ連合会が実施するデジタル機器を使った活動の普及推進に対する支援を行う。

(2) 事業内容

県老人クラブ連合会の指定した市町村老人クラブ連合会において、スマホ教室等を開催し、参加者のデジタル技術を高めるとともに、習得した知識や技術を他会員と共有することにより、老人クラブ全体のデジタル技術を高め、老人クラブ活動のデジタル化を図る。

令和5年度は、実施市町村を拡大し、活動のデジタル化をさらに推進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2、県1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,981	県老人クラブ連合会が実施する活動デジタル化に対する助成
合計	1,981	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県高齢者安心計画」第4章第3節-1 高齢者の生きがい・健康づくりの推進

(2) 国・他県の状況

都道府県老人クラブ連合会は「生活を豊かにする楽しい活動」、「地域を豊かにする社会活動」を目的として全ての都道府県に設置済。

(3) 後年度の財政負担

引き続き、県域組織である岐阜県老人クラブ連合会への運営・活動支援を通じて明るい長寿社会づくり、高齢者の保健福祉の向上に努めていく。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

高齢者に対するデジタルデバイドの解消を推進するとともに、活動制限化においても、健康づくり、生きがいきづくり活動が継続的に実施できるようにする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①オンライン活動 実施市町村老人ク ラブ連合会数	0団体	-	5	20	33	-
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和 4 年度	<p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和 5 年度	<p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、老人クラブの活動は制限されている。オンラインによる代替活動は、ICT機器に不慣れな高齢者が多く、実施困難なケースが散見される。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 コロナ禍終息後にも継続的にオンラインでの活動が実施されるよう、オンライン活動の利点について周知していく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内全域で、ICT機器を用いた活動が普及するよう引き続き事業を継続していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】